

一般社団法人日本社会福祉マネジメント学会 2021年の方針について

JASM 事務局

1. 昨期の業績について

JASMは昨期（2020年12月期）、学会運営、東京都保育士等キャリアアップ研修事業、団体保険、福祉研究助成金など、主に4つの事業を行いました。

JASM2020年 収支概算			
	収入	支出	余剰金
会員費	330,000円	0円	330,000円
東京都CU研修事業	12,600,000円	12,600,000円	0円
福祉研究助成事業	－円	2,000,000円	▲2,000,000円
団体保険事業	15,840,000円	15,316,000円	524,000円
合計	28,770,000円	29,916,000円	▲1,146,000円

※1 JASM運営（東京都研修を除く）に関する家賃、人件費、事務費、イベント費用は、

すべて株式会社 global bridge HOLDINGS が負担。

※2 昨年度（2019年12月期）の収支は、収入 39,410,523円、支出 39,531,957円、▲121,434円

2. 現状の課題と対策

JASMは、これまで global bridge HOLDINGS（以下、gbHD）の連結対象法人として、資金不足になった際には gbHD からの資金移動によって運営してきましたが、来る4月1日より、学会本来の姿である研究組織であることを主軸に運営を始めます。これまで、代表理事を始め、gbHD 役員が法人の理事を務めていましたが、今後は、現学会役員である中坪史典先生を始め二宮祐子先生、金井智恵子先生の3役員が理事となり、法人（学会）活動の中心を担っていただくこととなります。これにより、経営と執行の分離によって法人運営を行ってきた側面が解消され、他の学会同様に、研究者が法人理事となって運営することができます。また、日本学術会議協力研究団体への申請・登録もスムーズに行えます。

形式上、gbHD グループから独立するかたちとなりますが、これまで通り gbHD からの支援を受けながら運営を続け、法人理念である「研究者と実践者が共に社会福祉の課題解決に取り組むことで質の向上に取り組むこと」の実現に向けた組織的取組みを活動指針に据え、発展を遂げてまいります。

[ここに入力]

2021年3月19日

3. 学会の目標と方針

日本学術会議協力研究団体への登録を目指し、会員の増加を図ります。具体的な目標として、2021年内に同研究団体加入基準である100名（研究会員51名以上）を最低目標として必達し、第2回研究大会の開催、学会誌第2号の発刊を年内に完遂します。

4. 事務局の目標と方針

経済的に自立した組織に向け、独自事業の企画・運営を開始し、昨年の収支赤字である1,146,000円を超える利益を上げる事業へと発展させていきます。

[ここに入力]